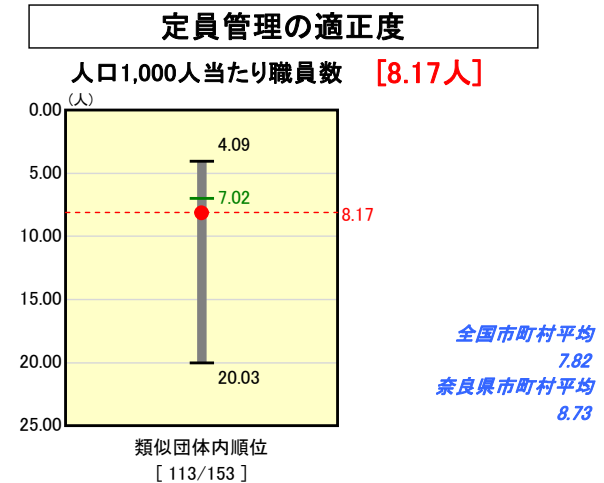
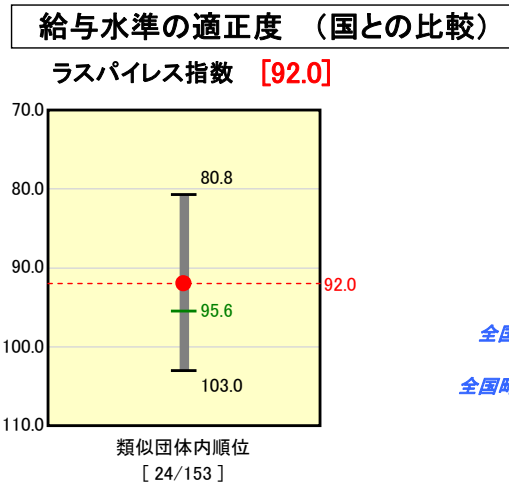
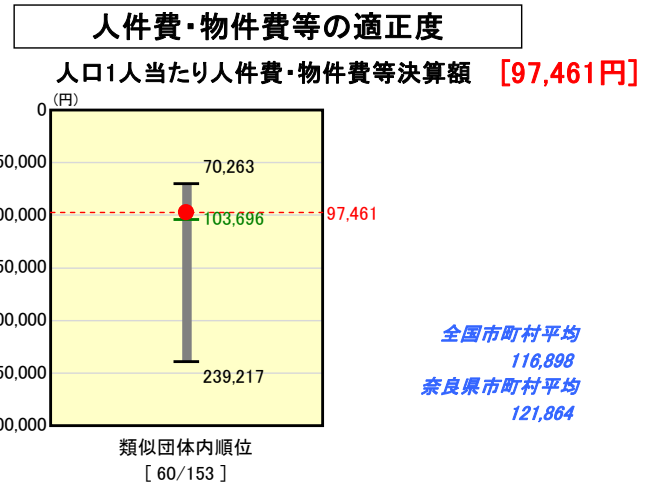
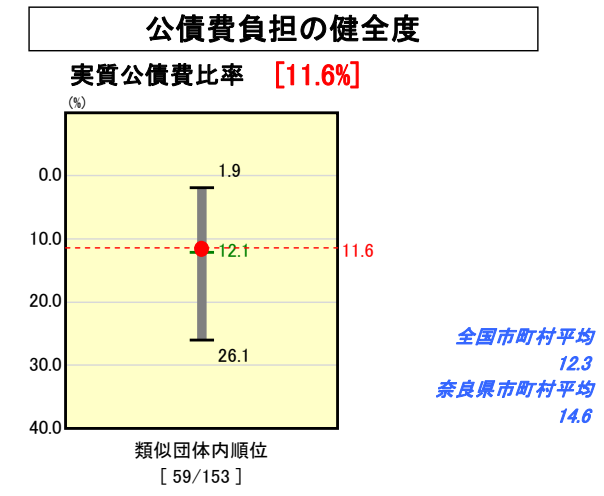
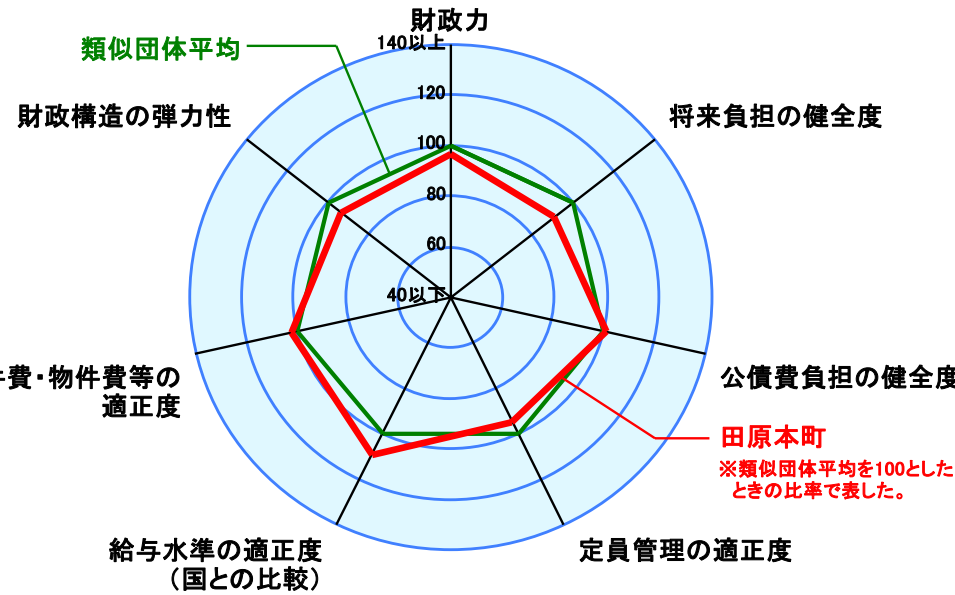
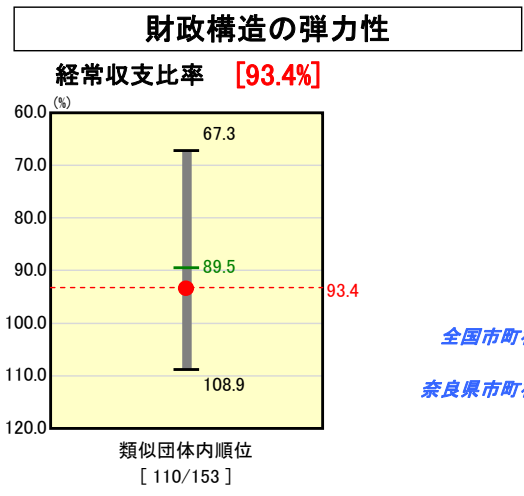
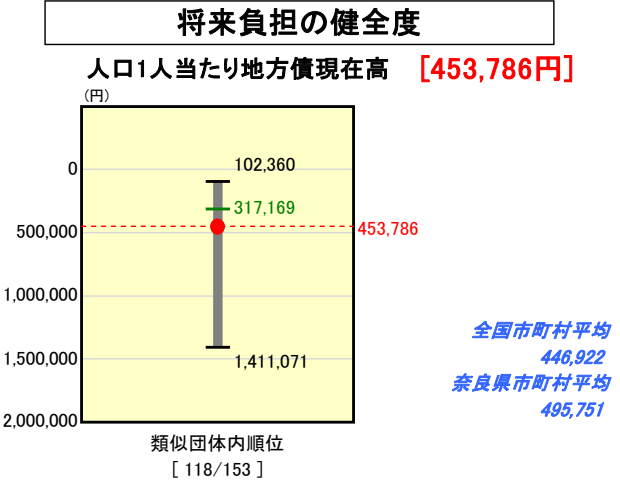
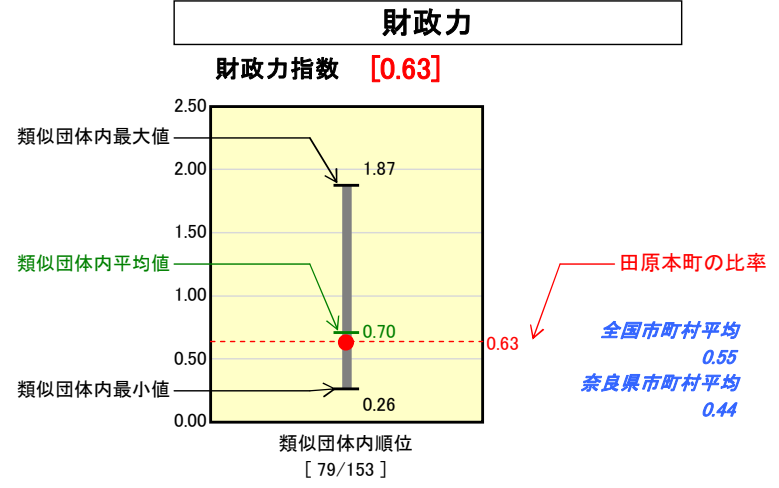


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

奈良県 田原本町

人口	32,945 人(H20.3.31現在)
面積	21.10 km ²
歳入総額	9,994,389 千円
歳出総額	9,588,640 千円
実質収支	378,400 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】 税収は類似団体を下回るために基準財政収入額は少なくなっており、一方公債費等の増加に伴い基準財政需要額は多くなっているために財政力指数は類似団体平均を下回っている状態にある。税収の確保に努めるとともに、今後、投資的経費や公債費を抑制していくことにより財政基盤の強化を図っていく。

【経常収支比率】 公債費や扶助費等、経常経費の増加により上昇している。このため補助金の見直しや公の施設の指定管理者制度への移行、また、予算枠配分方式を引き続き実施し、経常経費の節減に努めるとともに、使用料・手数料の定例的な見直しを行い、受益者負担の適正化を図るなど、財源の確保に努める。

【実質公債費比率】 平成19年度から算定方法が変更になったため、前年度に比べて減少した。生涯学習センター建設事業に伴う起債の償還増や、下水道事業債の償還に対する繰入金が多いが、償還に要する経費として基準財政需要額に算入された額が多いため類似団体平均を下回っている。事業の見直し等により借入額や繰出金の抑制を図り、財源的に有利な起債等の活用など、実質公債費比率の上昇の抑制に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】 類似団体平均に比べて低くなっている要因として、予算枠配分方式の実施による物件費の削減効果があげられるが、人件費については、職員数が多いため類似団体平均を上回っている。今後は職員数の削減に努めることとし、人件費や物件費の抑制を図っていく。

【人口1人あたり地方債現在高】 平成13～16年度に実施した生涯学習センター建設事業等により類似団体平均を上回っている。今後、田原本駅周辺整備事業や清掃センター建設事業等の取り組むべき事業はあるが、投資的経費の抑制による地方債発行の抑制とともに、平成20～21年度に元金償還のピークを迎え、その後も毎年度約13億円程度の元金償還があることから、地方債残高は減少する見込みである。

【ラスパイルズ指数】 主査以上の昇格については昭和62年度から試験制度を導入し、昇級運用の適正化を進めてきたため、類似団体の平均を下回っている。平成18年度には給料表の改正により、従来の9級制から7級制へ移行し給料の昇給額の縮減を図ったものである。今後においても給与制度運用の適正化に努める。

【人口1,000人当たり職員数】 ごみの収集及び処理や給食調理を直営で行っているため、類似団体の平均値を上回っている。その対策として、ごみ収集処理作業員、給食調理員、用務員等の技能労働者については、平成14年度から退職者補充を行わず、日々雇用職員等に対応している。更に委託の可能性や管理執行方法の再検討を行い、職員数の抑制、削減を図る。また、一般職の退職補充も事務事業の見直しにより、必要最小限にとどめ、職員数の適正化を図っている。